



<教育目標>

英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

平成 29 年 2 月 15 日発行

No. 14 校長 矢口 仁

己に克つ - プレッシャーとの闘い - 校長 矢口 仁

紅梅の下いつまでも雪残る 鷹羽狩行

暦の上では春ですが、余寒が続き、先週は雪が降りました。3年生は、今、進路決定へ向けて学習に励んでいます。本当の春が待ち遠しいこの頃です。



さて、毎年この時期になると自分が中学3年生、ちょうど受験直前に行われた札幌冬季オリンピックを思い起こします。1972年2月6日、70m級のジャンプ競技で、(当時はスモール・ヒルという名称ではありませんでした。)笠谷選手が金メダル、そして青地・今野選手もそれに続き、3人でメダルを独占。「日の丸飛行隊」と呼ばれるようになりました。その場面を、今でも鮮明に覚えています。

その日は休日でした。朝のんびり起きるとテレビ中継が行われていました。一本目が終わった時点で、日本選手が上位を独占していました。二本目、日本選手は次々と見事なジャンプを披露し、最後の笠谷選手が失敗しなければ、メダル独占という状況になりました。見ている方も、ものすごく緊張したのを覚えています。

笠谷選手が助走に入ります。ぶれない低い姿勢、そこから勢いよく飛び出し、きれいな空中姿勢を保ちました。そして、着地。テレマーク姿勢をしっかりと決めて、飛び終わりました。79m、見事優勝！メダル独占という快挙を成し遂げた瞬間でした。

私は中学生の時、日記を書きながら、「笠谷選手はすごい。日本全国の期待を背負っても、プレッシャーに負けず、力を全て出し切った。自分もプレッシャーに負けず、志望校に合格してみせる。」という内容を書きました。

進路の選択・決定だけでなく、人生の中では様々なプレッシャーがかかる場面があります。部活動の試合、発表会、検定や様々な試験……それは、人との争いというよりは、結局のところ自分との闘いの場面が多いのではないのでしょうか。

自分が目標に向けてやってきて蓄えた力を出し切れれば、結果はおのずとついてくるが多かったように感じます。

3年前、本校で講演をしてくださったブラインドサッカーの日本代表選手が「克己」という色紙を残してくれました。「己に克つ」という精神的な強さ・たくましさをこれから身に付けていってほしいものです。

☆ 保護者の皆様からのアンケート 自由意見について（続編）

【授業について】（→ 学校の考えです。）

「先生は教科書を使わない。」「歴史は最初、時代が変わる単元が変わった時だけちらっと使用するくらい。地理に関しては、先生の自作プリントが配られ穴埋めをする方法をとっていて、一切教科書を開かない。」と聞きました。

先生の主観で授業をするのではなく、公立のマニュアルに沿ったものはないのですか？現に子供は「社会がよくわからなくなった。あの先生の授業はきれい。」と言っています。好き嫌いでものを言っただけとはいけないと思いますが、授業内容からして、やる気をなくしているのは事実です。

中学生は高校受験も控えています。大切な思春期ですし、学校として問題視していただきたいと思えます。教科書に沿って授業をしていただき、生徒たちが安心して受けることができ、学力向上に努めていただきますようよろしくお願いします。

→ 公立学校では「学習指導要領」に沿って、その内容を指導することになります。本校においても、指導している内容は、学習指導要領に沿った内容です。今後、指導内容やねらいを板書する等をして、生徒たちがめあてをもって授業に臨めるよう授業改善に努めてまいります。

【心の教育について】

現在の教育として「自他の生命の尊重」「社会の中のルール」といったことは、根本は幼少期から関わりをもつ家族などが教えるべきであると考えています。

学校でも道徳の授業があったと思いますが、現在は将来のことばかり（職場体験など…）が重要視されているように思います。自分の時代にはなかったよい環境であると思う反面、子ども同士の関わりを見聞きしていても、なんだか思いやりの心が欠けているような、自分さえよければよいといった感じで、淋しい時代に入ってきたように思います。

生涯生きていく限り、人との関わりはなくなることはないと思っているので、“人として”のことももう少し気づいていけるような取組、授業などあれば、子どもたちがもっと豊かな心がもてるような気持ちになります。個人的には、人として思いやりの気持ちは若いうちにしか修正がきかないが、将来の道はどんなに年月が経っても本人のやる気でどうだって変えられると思っています。

→ 「心の教育」は、人が生きていくうえで、大変重要なものだと認識しています。本校では「人権尊重の教育・道徳教育」を重点の一つに掲げ、道徳の授業だけでなく、様々な教育活動を組み立てています。

また、心の教育は学校だけでできるものではありません。今後ともご家庭の協力を得ながら、連携を大切にして、生徒の心身ともに健やかな成長を目指します。

※ その他「給食」「時間割」「教師の言葉かけ」「二学期制」「総体陸上の練習」「運動会参観方法」等、ご意見をいただきました。ありがとうございます。検討し、改善できる点を、次年度の教育活動に生かしていきたいと思えます。

※ 学校へのご意見は、アンケートの時期だけでなく、いつでもお寄せください。